



みどりの風

光いっぱい为学校

あたたかな春の日差しとともに、令和7年度の教育活動が始まりました。子どもたちの元気な声が校舎内に響き渡り、新しい1年が始まりました。子どもたちの「できた!」「わかった!」「うれしい!」「楽しい!」がいっぱいの1年になるよう、教職員一同で力を合わせて取り組んでいきます。

やんちゃな子からはやんちゃな子の光
おとなしい子からはおとなしい子の光
気のはやい子からは気のはやい子の光
ゆっくりな子からはゆっくりな子の光
支援員さんからは支援員さんの光
用務員さんからは用務員さんの光
主任さんからは主任さんの光
保健の先生からは保健の先生の光
先生方からは先生方の光
教頭先生からは教頭先生の光
校長からは校長からの光

互いの光を尊重しながらも、
すべての人がそれぞれの光を放ちあって
学校をいろんな光でいっぱいの学校にしましょう。



光いっぱい为学校

1学期の始業式で話した内容です。子ども、教職員にはそれぞれ個性があります。一人一人がその個性を発揮して、「石川小学校で学べてよかった」「石川小学校に勤務してよかった」と思える学校にしたいと思っています。そして、自分らしい光をたくさん出して、石川小学校が光いっぱいの学校になるよう取り組みます。個性を発揮することと、わがままをとおすことは違います。多様性は認めながら、相手の立場に立って物事を考えられるようになってほしいと思っています。

保護者・地域の皆様には、お世話になる場面が多々あるかと思えます。御理解いただき、御協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

<石川小の校章について>

1階廊下に校章の意味等を説明した看板が設置され、以下の紹介文が書かれています。

<校章について>

1 楔（くさび）の意味

くさびとは一方の端が厚く、他の端に行くにつれて、薄くなり断面が鋭い二等辺三角形になるようにつくられた。2つの材木をしっかりと固定するときを使う。

●楔=木+契り（契りとは、約束、誓いのことです。）

2 作者の願い *（校章は）石川という字をデザイン化した。 *げんこつをにぎっている。

(1) 日本は東洋と西洋のくさびとなる国である。

(2) 石川小の子どもたちがお互いに思いやりの心もち、支え合って勉強していこうという約束の意味をもっている。

(3) 共に学んだみんなが、次の世代まで一緒に手を取り合って進んでいこうという気持ちを約束して石川小を卒業してほしい。（以上、漢字に直した部分等がありますが、ご了承ください）

